



**発行：NPO 法人シャローム事務局**

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3  
TEL / FAX 024-567-5322

Web <http://www.nposhalom.net>  
E-mail [info@nposhalom.net](mailto:info@nposhalom.net)

発行責任者：大竹静子

# ひまわり感謝祭&共に生きる仲間たちのコンサート

**十二月十日開催に向けて  
準備が進められています!!**

今年も「ひまわり感謝祭」が十二月十日(土)A.O.Z(アオウゼ)で開催されます。開催に向けて準備が本格化しています。開催のためのボランティアさんや当日のボランティアさん、ひまわりプロジェクトでの栽培記録の展示などに参加して下さる方を募集しています。ご参加よろしくお願いたします。

ひまわり感謝祭は、震災以後開始され六回目を迎えます。また、共に生きる仲間たちのコンサートは二十回を迎えます。シャロームは、障がい者支援を行う市民のボランティアグループとして長年活動を行ってきました。障がいを持つ仲間たちとともに作り上げるコンサートとして始まり、今年はその二十周年の年、一回目の年に生まれた子どもも成人式です。

当時は、会場になった県文化センターに障がい者用のトイレもスロープもなく、会場内に簡易スロープを設置してもらって開催したことを思い出します。それから二十年が経ち、歩道は広くなり点字ブロックや多目的トイレが多くの場所に設置されるようになってきました。少しずつではあっても、二十年前とは障がい者に対する環境は変わってきているのを感じます。

障がいは、生活していく上で不便さ・周囲とのハンディを持つことで生まれます。このハンディを周囲の人々が理解し、ハンディを補える環境を整備することで改善していきます。ハンディを知らずに放置していくことが無意識のうちでの差別につながります。それは、障がいを持つこととなった当事者と、周囲の人々とのコミュニケーションがど



れだけ行われているから大きく変わっていきます。原発事故によって、福島は日本社会に大きなハンディを持たされたと考えています。この障がいを持った福島から現状を伝え、周囲の人々とコミュニケーションを取っていく場が「ひまわり感謝祭」となります。今回の主な内容をご紹介します。



内容が盛り沢山見て、聴いて楽しんでためになる企画でいっぱいです。

今年収穫のひまわり種も全国から続々と送られてきてい

## 2016 ひまわり感謝祭&仲間たちのコンサート

### 1. 第 20 回共に生きる仲間たちのコンサート

- 第 1 部 ひまわり応援隊ゲストステージ
  - パーカッションユナイツ (札幌)
  - シンガーソングライター阿部ひろ江さん (京都)
- 第 2 部 仲間たちのオンステージ

### 2. 座談会：ひまわりプロジェクト「福島から繋ぐ人権 Part II」

基調講演：「命と向き合い生きる」  
- NPO 法人北九州ホームレス支援機構 代表 奥田知志氏

### 3. ひまわり再会プログラム

子どもひまわり大使や子どもも保養で繋がった人たちの再会プログラム

### 4. 飯館村の今を考えるプログラム

避難から 5 年を経過し、来年 3 月で帰村が決まった飯館村の今を知り考える

### 5. 全国から寄せられたひまわりの栽培記録の展示

### 6. 県内外の市民活動団体・NPO 活動紹介展示

### 7. シャロームの一年間の活動報告展示



愛のつぼみ 中

満月が夜空を照らす。秋晴れの夜、月の光が人の影をつくる。実りの秋を迎え、秋祭りとともにイベントがいたるところで行われている。

孫たちの通う小学校でも秋祭り、おにぎり、焼きそば、ソーゼージ、豚汁も。作ってもらったメニューを味わう。若いお父さん、お母さんたちに交じって、おじいさん、おばあさんの顔もみえる。私たちだけではないが、数は少ない。六年生は親に交じって役割を持ちながら販売なども。成長していく子どもたちの姿が頼もしく思える。

体育館いっぱい親と子供たちが所狭しと動いている。まちの中では見られない、こんなに子どもたちがいる！光景。子どもたちがいるだけで活気が生まれる。今を生きる子どもたちが、これからの未来を創っていく。ここには、こんなに子どもたちがいる。この子どもたちの未来を見守る若い親たちがいる。そして、おじいちゃん、おばあちゃんがいる。

何気ない小さな秋祭り、そこには人と人とを繋ぎ、未来へと続く大きな夢を紡ぐ地域社会の営みがある。

(T.O)

ます。今年の種から絞られた油も展示販売される予定です。皆さんとともに一年を振り返り、楽しいイベントとしていきたいと思っております。十二月十日にA.O.Zでお会いしましょう。(代表 大竹静子)